



たまたま敏幸県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

6月定例会チバテレ **3** 生中継!!

チャンネル

県議会代表質問

滝田敏幸県議

6月22日(木) 10:00~



自民党 滝田 敏幸

千葉県議会随一の論客として活躍する滝田敏幸県議は、統一地方選で5期目の当選を果たしました。6月22日には、自民党政調会長として県議会本会議で代表質問に登壇予定。21世紀以降、現役県議最多40回目の質疑に臨みます。

また、注目のLGBTを含む「多様性尊重」条例制定や児童虐待防止に係る千葉ニュータウンへの新児童相談所誘致、北千葉道路をはじめとする県内道路ネットワークの整備など、県政の重要課題を取り上げます。

なお、県議会代表質問はチバテレ地上波で生中継されますので、是非御覧下さい。

自民政調会長として5期目当選!!

LGBT含む多様性条例、熊谷知事と質疑

「多様性尊重」条例について議論

熊谷俊人知事は選挙公約で「LGBTを含む」「多様性尊重」に関する条例制定を掲げました。

一方、国会では「LGBT理解増進法」の審議が現在行われています。

これまで私は、ちば自民党政調会長として「LGBTを含む」「多様性尊重」の問題を、「左右のイデオロギー対立」や「政争の具」とならないよう留意してきました。

「社会の分断を招かない」ことが前提

ちば自民党は、社会や世論の動向を注視しつつ、2月定例会県議会代表質問で、知事に「多様性尊重の推進」について質したところ、「条例制定の検討」の答弁がありました。

これに対し、私は「県勢の発展に向け、県民の誰もが活躍できる環境づくりを進めていく観点から、新たな条例を制定する意義については理解する」と応じる一方、「条例制定の検討にあたっては、多様性を尊重することの意義を県民が理解し、広

く共有することが重要であり、社会の分断を招かないこと、国民の間で意見や価値観が十分にまとまっていない事柄への慎重な対応」を自民党として指摘しました。

こういった議論を踏まえ、性別や人種・民族、出自、障害の有無、LGBTなど、多様性を認め合い、フンチームとなって千葉県の社会経済の活力と創造性を高めていくため、今後も熊谷知事との議論を深めて参ります。まずは、6月定例会における、知事と私との質疑に御注目頂ければと思います。

滝田敏幸PROFILE

1960年	印西町大森生れ 印西中、県立我孫子高校
1982年	同志社大学卒業
1999年	印西市議会当選（2期）
2007年	千葉県議会当選（5期）
2008年	印西市消防団副団長
2010年	県総合企画常任委員長
2011年	千葉県ラグビー協会会長
2013年	県総務防災常任委員長
2016年	農林水産常任委員長
2021年	千葉県監査委員
2022年	自民党（千葉県連）政調会長

答えて!! Q&A

滝田県議!!

ちば自民党
政調会長が
答えます!



Q

県議5期目、最大の目標はなんですか?

A

千葉県の新児童相談所を令和8年、
ニュータウン牧ノ原に誘致します!!

— 命を守る政治が原点 —



facebook



YouTube



Twitter

印西市と栄町の皆様、こんにちは。ちば自民党政調会長・たきた敏幸です。

今回は私の政治の原点について、正直に申し上げます。

政治の道を歩んだのは28年前(1995年)、地元の先輩町議勇退により、その後継の話を頂いたことが切掛けでした。27歳で家業を継ぎ、消防団や商工会等で地域活動に携わっていましたが、晴天の霹靂(へきれき)でした。印西が1996年の市制施行を目前に控え、当時の伊藤利明町長からも薦められ、徐々に政治への関心が高まってきました。

そして1999年から2期8年、印西市議会議員を務め、地元で政治の奥深さを学んだ後、紆余曲折を経て2007年から県議5期の現在に至っています。

運命の日、2007年12月7日

その日は、私にとって運命の日となりました。10時からの県議会本会議、初の一般質問へ向け自宅を出発前、母と家内と一緒に朝食。「行ってきます」と元気に県庁へ向かった。母と家内は100名を超える地元傍聴者を引き連れ県庁へ来る予定だったが…。

本会議場で、登壇直前、米井重行・自民党青年部長(現印西市議)から、母が集合場所の印西市役所で倒れ、日医大に緊急入院したとの話を聞き、茫然自失。急性くも膜下出血で心肺停止状態となり、緊急手術の甲斐もなく結局、帰らぬ人となりました。当事者でありながら、まるでドラマを見ているような感覚に陥りました。ちなみに、初質問の内容は、印西への病院誘致と北総鉄道問題でした。

印西牧の原へ新児童相談所を誘致!!

私は、この経験を通じ「**人の命を守る**」ことこそ、政治の責務との思いを強めました。それ以来、県政では千葉県の「**ドクターヘリ**」事業推進は元より、全国初となる「**AED普及条例**」や「**がん対策条例**」の制定にも携わってきました。

また、八街市5児童死傷事故を受けての「**通学路安全対策**」や野田市児童虐待死事案を受けての「**千葉県児童相談所管轄区域の見直し**」など、人命に係わる政策に最優先で取り組んでいます。

まずは令和8年度、印西市と栄町を含む印旛郡市7市2町を管轄区域とする、千葉県の新児童相談所をニュータウン牧の原に誘致します。「**子供たちの命を守る**」安心安全の機関であり、県の子育て支援の拠点施設となります。児童心理士など専門職も100~150名体制となり、県の人材育成も急務となってきました。今後とも、自民党政調会長として全力を尽くして参ります。

★毎日更新中・ブログと県議会動画もご覧下さい。

滝田敏幸

検索

<http://www.takinowa.com/>

たきた敏幸 事務所

〒270-1326 印西市木下1521-125 2F TEL.0476(37)4173